

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報データ連携 小中学校版」製品
地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号: K000726-0002 ★APPLICで記載

※赤字部分は、V2.10からV3.1の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2016

・教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ連携 小中学校版V1.2

・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V3.1

・プラットフォーム通信標準仕様3.1

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2016年12月1日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名: 東京書籍株式会社

団体のURL: <http://www.tokyo-shoseki.co.jp/>

APPLIC会員番号: K000726

★識別キー項目1
(識別キー項目4つで
ユニークになるように
申請者が指定する)

(d) 製品情報

代表製品名:

製品説明のURL:

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

製品識別情報(バージョン等):

リリース日(予定)(西暦年月日):

対応OS:

製品の形態(0)型から(3)型:

iFuture

http://www.tokyo-shoseki.co.jp/academic/n_ifuture.html

Ver.1

2016年10月1日

Windows Server

※対応OSは一例です。

(0)型

★識別キー項目2

★識別キー項目3

製品単品

製品単品

製品分離型

製品分離型

業務処理製品
(データ交換処理型)
※1

(0)型

業務処理製品
(データ交換処理型)
※1
(PF通信処理)

(1)型

業務処理製品
(データ交換処理型)※1
PF通信製品

(2)型

業務処理製品
(データ交換処理型)※1
Y社PF通信製品

(3)型

※1 “データ交換処理”とは、メッセージ定義に沿ったデータを出力できる機能(エクスポート)と入力できる機能(インポート)を指す。

前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名:

※2

※2 (2)型から(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無:

参考となる情報(オプション):

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象 教育情報アプリケーションユニット 小中学校版の申請リスト ★識別キー項目4

今回の準拠登録申請の対象業務ユニット1つのみに○をつける!

番号	ユニット名	準拠確認対象
AK01	学習者情報アプリケーションユニット 小中学校版	
AK02	学校保健アプリケーションユニット 小中学校版	○

備考欄(前提条件や制限事項)

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報データ連携 小中学校版」製品
地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号:

K000726-0002

★APPLICで記載

※ 赤字部分は、V2.10からV3.1の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2016

・教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ連携 小中学校版V1.2

・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V3.1

・プラットフォーム通信標準仕様V3.1

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(c) 申請者

団体名:

東京書籍株式会社

★識別キー項目1

(d) 製品情報

代表製品名:

iFuture

★識別キー項目2

製品識別情報(バージョン等):

Ver.1

★識別キー項目3

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

◎: 対応、○: 制限事項(制限事項はシートの備考欄に記載あり) ↓

番号	要件	準拠ルール	必須/選択	製品・システム確認	APPLIC確認欄
AK02	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u>	教育委員会内・自治体間および学校間で学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> のデータ連携を行う。 (教育情報アプリケーションユニット標準仕様 <u>校務基本情報データ連携 小中学校版</u> の【業務1-4-2,1-7-2,1-8-2,1-9-2,1-13,1-13-2】を参照)		◎	○
AK02-1	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> が提供する機能を持つ	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> は、標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能をすべて持つこと。 (教育情報アプリケーションユニット標準仕様 <u>校務基本情報データ連携 小中学校版</u> 【業務1-4-2】の機能一覧を参照)	必須	◎	
AK02-2	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> のデータ項目を持つ	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> は、利用側業務ユニットに対し、標準仕様のインターフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (教育情報アプリケーションユニット標準仕様 <u>校務基本情報データ連携 小中学校版</u> 【業務1-7-2】のインターフェース仕様、【業務1-8-2】のデータ一覧を参照)	必須	◎	
AK02-3	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> 間の情報交換	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> のデータは、異なる学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> 間で交換できる必要があり、学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> は、以下の機能を提供できること。			
AK02-3-1	データエクスポート機能	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> は、【業務1-9-2】のインターフェース一覧の「児童生徒健康診断票情報メッセージ」をエクスポートできること。	必須	◎	
AK02-3-2	データインポート機能	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> は、【業務1-9-2】のインターフェース一覧の「児童生徒健康診断票情報メッセージ」をインポートできること。	必須	◎	
AK02-3-3	コード辞書に対応	学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> は、利用側の学校保健アプリケーションユニット <u>小中学校版</u> とのデータ連携(データエクスポート/データインポート機能)時に、標準仕様のコード辞書に定義された値に変換できること。 (教育情報アプリケーションユニット標準仕様 <u>校務基本情報データ連携 小中学校版</u> 【業務1-13】【業務1-13-2】のコード辞書を参照)	必須	◎	

備考欄(前提条件や制限事項)